

《新条項》

別表(1)

教育課程及び授業日時数

トータルビューティー科

	課 程		専 門 課 程			
	学 科	科 目	トータルビューティー科		単位表示	
			第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
一 般 科 目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	60		2	
	2	コミュニケーション活動Ⅱ		60		2
	3	T リ テ ラ シ ー	60		2	
	4	T リ テ ラ シ ー		60		2
専 門 科 目	5	メ イ ク 実 習 Ⅰ	120		4	
	6	メ イ ク 実 習 Ⅱ		120		4
	7	ネ イ ル 実 習 Ⅰ	120		4	
	8	ネ イ ル 実 習 Ⅱ		120		4
	9	化粧品学・スキンケア・エステⅠ	60		2	
	10	化粧品学・スキンケア・エステⅡ		60		2
	11	接 遇 マ ナ ー Ⅰ	30		1	
	12	接 遇 マ ナ ー Ⅱ		30		1
	13	接 客 ・ カ ウ ン セ リ ン グ Ⅰ	30		1	
	14	接 客 ・ カ ウ ン セ リ ン グ Ⅱ		30		1
	15	着 付 け Ⅰ	60		2	
	16	着 付 け Ⅱ		90		3
	17	ヘ ア ア レ ン ジ Ⅰ	30		1	
	18	ヘ ア ア レ ン ジ Ⅱ		30		1
	19	色 彩 学	60		2	
	20	パ ー ソ ナ ル カ ラ ー	30		1	
	21	デ ザ イン ア プ リ ケ ー シ ョ ン	60		2	
	22	モ ニ タ ー サ ロ ン		60		2
	23	ウ ェ デ イ ン グ Ⅰ	60		2	
	24	ウ ェ デ イ ン グ Ⅱ		60		2
25	セ ル フ プ ロ モ ー シ ョ ン Ⅰ	30		1		
26	セ ル フ プ ロ モ ー シ ョ ン Ⅱ		30		1	
特 別 科 目	27	卒 業 制 作		90		3
	28	キ ャ リ ア プ ラ ン	60		2	
	29	産 学 連 携 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅰ	30		1	
	30	産 学 連 携 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅱ		30		1
	31	特 別 実 習 Ⅰ	30		1	
	32	特 別 実 習 Ⅱ		30		1
		共 通 選 択 科 目	30	60	1	2
単 位 合 計 数					32	32
年 間 履 修 時 間			960	960		
年 間 授 業 日 数			180	180		

注) 共通選択科目は1年次30時間以上、2年次60時間以上履修しなければならない

注) 共通選択科目教育課程は別紙参照

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動 I		実習		トータルビューティ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	朝比奈 将人	
授業の目的・目標						
様々な場面で柔軟に対応し、協調性ある行動ができるようになる。自身の学校生活を見直し、身の回りの清掃整理を行い、成長のステップに繋げる。						
授業の概要						
イベント行事やグループ活動を通しコミュニケーションの重要性を理解する。日々の学業の振り返りを行い、生活環境を整える。						
成績評価の方法						
1. 課題（指定された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（全授業科目の欠課数）				課題	10%	
				平常点	90%	
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション		4			
2.	〃		4			
3.	〃		4			
4.	〃		4			
5.	健康診断		4			
6.	〃		4			
7.	レクリエーション		4			
8.	〃		4			
9.	学校行事・学科活動		4			
10.	〃		4			
11.	テーブルマナー研修		4			
12.	〃		4			
13.	校外研修		4			
14.	〃		4			
15.	〃		4			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ITリテラシー I		講義・ <b>演習</b>		トータルビューティー科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	朝比奈 将人	
授業の目的・目標						
PC初期設定～office等に関し、ビューティー業界レベルでのPC活用のため、基礎操作を学ぶ。基本操作を継続学習し、全科目にてIT活用出来るための補助学習を目的とする。ブランドが求めるイメージを理解し、企画提案するためのアウトプット方法を習得する。						
授業の概要						
PC初期設定～Teams～office365等の基礎を学び、他授業等でもIT活用出来るような基本操作を学ぶ。ブランディングを学ぶ為に、ブランドリサーチ、企画～実習、作品制作、プレゼンという一連の流れをグループワークで実施する。						
成績評価の方法						
1. 課題（課題の完成度と提出率、発想の斬新さ） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢）				課題	40%	
				平常点	30%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
PC 充電器 筆記用具 スマホ						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	PC初期設定等		2	16	Excel活用術	2
2.	〃		2	17	Excel活用術	2
3.	〃		2	18	後半オリエンテーション	2
4.	Teams活用術		2	19	ブランド・トレンド研究	2
5.	〃		2	20	〃	2
6.	PC機能活用術		2	21	ブランド・トレンドリサーチ	2
7.	〃		2	22	〃	2
8.	ZOOM活用術		2	23	動画企画	2
9.	〃		2	24	〃	2
10.	photoshop体験		2	25	動画撮影	2
11.	〃		2	26	〃	2
12.	パワーポイント活用術		2	27	〃	2
13.	作品制作		2	28	プレゼン準備	2
14.	〃		2	29	プレゼンテーション	2
15.	プレゼンテーション		2	30	〃	2
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。				デザインアプリケーション		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
メイク実習 I A		実技		トータルビューティーク	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	朝比奈 将人
授業の目的・目標					
メイクアップの基本を徹底して学び、安定した技術力と知識を身につける。 JMA3, 2級検定取得を目指す。					
授業の概要					
技術・知識のみならず、他者への気配り、美容従事者としての誇りを持ち職業としてメイクアップに携わる尊さを知り学びを通して身につける。					
成績評価の方法					
1. 課題 (理解度、試験点数) 2. 平常点 (主体的な授業参加度) 3. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
日本メイクアップ技術検定試験2, 3級公式テキスト、筆記用具、ドール、クランプ、メイクアップボックス道具一式、メイクアップに必要なツール、消耗品など授業に必要なもの。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション、メイクアップの前に			2		
2. スキンケアテクニック①			4		
3. スキンケアテクニック②			4		
4. ベースメイクアップテクニック①			4		
5. ベースメイクアップテクニック②			4		
6. チーク・ハイライト・ローライト			4		
7. フルメイク実習			4		
8. JMA3級対策			4		
9. 顔の分析・色・形・質感			2		
10. ベースメイクアップテクニック③			4		
11. アイメイクアップテクニック			4		
12. リップ・チークメイクテクニック			4		
13. スキンケアテクニック手技確認			4		
14. スキンケア～フルメイクアップ			4		
15. JMA 2 級対策			8		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			メイク実習 I B   メイク実習 I C		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
メイク実習 I B		実技		トータルビューティ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	加藤 亮臣	
授業の目的・目標						
メイクアップの幅を広げ、モードメイクや作品作りなどで活用できる技術や知識の習得を目指す。						
授業の概要						
検定外の知識や技術を解説。モードメイクや作品作りにおける肌作りからポイントメイクの様々な応用バリエーションを説明し相モデルで実習。						
成績評価の方法						
1. 平常点(主体的な授業参加度)				平常点	50%	
2. 学習意欲(学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	50%	
使用テキスト・教材						
メイクBOX、コットン、ティッシュ、タオル、髪を留めるもの、ゴミ袋						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	メイクデモンストレーション		2			
2.	アイブロウ		4			
3.	リップ、チーク		4			
4.	アイシャドウ		4			
5.	アイライン、アイラッシュ		4			
6.	ベース		4			
7.	イメージデザイン		4			
8.	顔分析		4			
9.						
10.						
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			メイク実習 I A   メイク実習 I C			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
メイク実習 I C		実技		トータルビューティーク		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	朝比奈 将人	
授業の目的・目標						
作品デザインにおける企画力・表現力・再現力向上を図り、難関コンテストにチャレンジすることでモチベーションアップに繋げる。						
授業の概要						
JMAコンテストに向け、作品デザインを企画～作成～撮影しテーマ作成を踏まえコンテスト応募までを一連の流れとする。						
成績評価の方法						
1. 課題（課題の完成度と提出率、発想の斬新さ）				課 題	40%	
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平 常 点	30%	
3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢）				学 習 意 欲	30%	
使用テキスト・教材						
（コンテスト）ヘアメイク道具一式等作品制作に必要とするもの						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. テーマ・コンセプト決め			4			
2. デザイン案作成			4			
3. デザイン案調整			4			
4. 作品制作			14			
5. 撮影			2			
6. コンテスト応募準備（テーマ、コンセプト等）			2			
7.						
8.						
9.						
10.						
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			メイク実習 I A   メイク実習 I B			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネイル実習 I A		実技		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	関 容子
授業の目的・目標					
正しいネイルケアの技術習得フラットアートの習得JNECネイリスト技能検定試験3級取得					
授業の概要					
JNECネイリスト技能検定試験3級取得を目標とし、学科・技術を身につけネイルケアサービスを行う為の基礎を学ぶ。ネイルアートの技術を身につけ作品作りに繋げる。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢・授業内テストでの理解度）				課題	30%
				平常点	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
入学時に配布された教材一式・タオル2枚・キッチンペーパー・アルミホイル JNAテクニカルシステムBASIC					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	ネイル業界やネイリストという仕事について	2	16.	(実技) クリーンナップ	2
2.	教材確認と目標設定	2	17.	(学科・実技) クリーンナップ・カラーリング	2
3.	(学科) 歴史・技術体系	2	18.	(実技) カラーリング	2
4.	(学科) 爪の構造と働き・皮膚科学	2	19.	(実技) カラーリング	2
5.	(学科) せいの解剖学・消毒法	2	20.	(実技) ネイルアート	2
6.	(学科) 爪や皮膚の病気・色彩理論	2	21.	(実技) ネイルアート	2
7.	(学科) まとめと小テスト	2	22.	(学科) 3級検定について	2
8.	(実技) プレマニキュア	2	23.	試験事前準備について	2
9.	(実技) プレマニキュア	2	24.	3級検定模擬試験	2
10.	(学科・実技) ファイリング	2	25.	3級検定模擬試験	2
11.	(実技) ファイリング	2	26.	3級検定模擬試験	2
12.	(実技) ファイリング	2	27.	3級検定模擬試験	2
13.	(学科・実技) ファイリング・クリーンナップ	2	28.	3級検定模擬試験	2
14.	(実技) クリーンナップ	2	29.	3級検定模擬試験	2
15.	(実技) クリーンナップ	2	30.	3級検定模擬試験	2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			ネイル実習 I B		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ネイル実習 I B		実技		トータルビューティーク		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	関 容子	
授業の目的・目標						
フラットアート/エンボスアートの技術取得JNAジェルネイル技能検定試験初級取得						
授業の概要						
JNAジェルネイル技能検定試験初級取得を目標とし、ジェルについての知識・技術を身につけ、サロンワーク技術を行う為の基礎を学ぶ。 ネイルアートの技術を身につけ作品作りに繋げる。						
成績評価の方法						
1. 課題（提出された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲、授業に取り組む姿勢、テスト、検定試験結果）				課題	30%	
				平常点	30%	
				学習意欲	40%	
使用テキスト・教材						
入学時に配布された教材一式・タオル2枚・キッチンペーパー・アルミホイル JNAテクニカルシステムBASIC						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	教材確認・授業の目的・ジェル検定について 教材の仕込み	2	16.	ジェル初級検定対策	2	
2.	学科 ジェルネイル材料の基礎理論・ジェルネイルの技術体系	2	17.	ジェル初級検定対策	2	
3.	学科 ジェルネイルによって起こるネイルトラブル	2	18.	ジェル初級検定対策	2	
4.	学科 ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止	2	19.	ジェル初級検定対策	2	
5.	テーブルセッティング・ジェルネイル検定初級デモンストラ ション	2	20.	ジェル初級検定対策	2	
6.	ジェルカラーリング実習	2	21.	ジェル初級検定対策	2	
7.	ジェルカラーリング実習	2	22.	ジェル初級検定対策	2	
8.	ジェルカラーリング実習	2	23.	ジェル初級検定対策	2	
9.	ピーコックアート実習	2	24.	ジェル初級検定対策	2	
10.	ピーコックアート実習	2	25.	ジェル初級検定対策	2	
11.	カラーリング実習(ポリッシュ・ジェル)	2	26.	ジェル初級検定対策	2	
12.	カラーリング実習(ポリッシュ・ジェル)	2	27.	ジェル初級検定対策	2	
13.	ジェル初級検定対策	2	28.	ジェル初級検定対策	2	
14.	ジェル初級検定対策	2	29.	ジェル初級検定対策	2	
15.	ジェル初級検定対策	2	30.	ジェル初級検定対策	2	
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネイル実習 I A			

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
化粧品・スキンケア・エステ I A			講義・演習		トータルビューティーク	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	遠藤 幾美	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物から抽出された自然の香りアロマの基礎と脳や体に与えるメカニズムを知り、アロマでセルフケアが出来る。</li> <li>・コスメ作りや、トリートメント実施を通して、エステ・マッサージ・セラピストなどの職種に関心を広げる。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の持つ、特色・効能・基礎を学ぶ。</li> <li>・アロマセラピーを通して、栄養学・皮膚・脳・神経・ホルモンなどの体のメカニズムを学ぶ。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度、作成物）				課題	30%	
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%	
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢、テスト）				学習意欲	40%	
使用テキスト・教材						
スプレーボトル・精製水・ミツロウ・植物油・遮光ビンクリーム容器・精油・クレイ						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	アロマの概要・注意事項・〈作成〉アロマネイルオイル		2			
2.	精油のプロフィール①・沐浴法について（温湿布・スチーム・吸入法）		2			
3.	〈実践〉ハンドバス 〈作成〉バスソルト作成		2			
4.	精油のプロフィール②・アロマセラピーと体のメカニズム（脳・皮膚・ホルモン）		2			
5.	〈作成〉アロマハンドクリーム		2			
6.	精油のプロフィール③・芳香浴について		2			
7.	〈作成〉アロマスプレー		2			
8.	ブレンドオイルについて・手技、ツボ、カウンセリングについて		2			
9.	〈実践〉アロマハンドトリートメント		2			
10.	香りの歴史について・アロマと美容、健康について		2			
11.	〈作成〉アロマフレグランス		2			
12.	アロマセラピーに関する法律について		2			
13.	〈作成〉クレイパック		2			
14.	アロマの活動分野、資格について		2			
15.	〈作成〉アロマワックスパー		2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			化粧品・スキンケア・エステ I B			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
化粧品・スキンケア・エステIB			講義・演習		トータルビューティーク
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	田中 浩子
授業の目的・目標					
自分自身の肌の悩みを解決する方法を学び、人にも実践できる人材を育てる。 マッサージ、エステの初歩の技術を学び実践する。					
授業の概要					
「皮膚生理学」知識を習得することにより、人間の心と身体的美と健康を維持するためのサポートができる人材を育成する。また、正しい知識に基づき、エステティックの基本技術を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢) 試験結果			3. 筆記		平常点 30% 学習意欲 30% 筆記試験結果 40%
使用テキスト・教材					
テキスト：新エステティック学 教材：洗顔石鹸、石鹸ケース、クレンジング、化粧品学教材入れポーチ、ファイル (40ポケット)					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. カウンセリングとは? (自分の肌を知る)					2
2. 季節の肌と紫外線					2
3. ※スキンケア実践 (スキンケア実践)					2
4. ※スキンケア実践 (キメ、水分量、毛穴測定)					2
5. 皮膚の基礎知識①					2
6. 皮膚の基礎知識②					2
7. ※フェイシャルエステ・デコルテ実践①					2
8. ※フェイシャルエステ・デコルテ実践②					2
9. 肌トラブルの原因と対策について					2
10. セルフフェイシャルマッサージ実践					2
11. ※ドライヘッドスパ実践					2
12. ※スキンケア実践 (測定機器にて肌の変化を確認する)					2
13. 身体と肌に良い食事とは (試食)					2
14. カウンセリングとは? (相手の軸を知る) ・総復習					2
15. 筆記試験					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			化粧品・スキンケア・エステIA		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客マナー I		講義・演習		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	片山 留美
<b>授業の目的・目標</b>					
接客という仕事の基本を理解し、サービスと接遇の基本とコミュニケーション技術を身に付ける。 サービス接遇検定3級取得を目標とする。					
<b>授業の概要</b>					
相手に満足を提供する「サービス」と、その行動の「接遇」について学ぶ。 ビジネスの場で問われる「人に快適なサービスと接遇で満足してもらう為の具体的な考え方、行動の仕方、話し方」を身に付ける。					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 平常点(主体的な授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲(学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢、検定結果)				学習意欲	40%
3. 検定結果				検定結果	30%
<b>使用テキスト・教材</b>					
サービス接遇検定 3級 公式テキスト(早稲田教育出版)					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	サービススタッフの資質 <small>必要とされる要件・従業要件</small>		2		
3.	”		2		
4.	専門知識 サービス知識・従業知識		2		
5.	”		2		
6.	一般知識 社会常識		2		
7.	”		2		
8.	対人技能 人間関係・接遇知識		2		
9.	” 話し方・服装		2		
10.	実務技能 問題処理・環境整備・金品管理・社交業務		2		
11.	検定対策・過去問題		2		
12.	”		2		
13.	”		2		
14.	”		2		
15.	”		2		
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>	
※单元ごと演習課題を実施する。				接客・カウンセリング I	
※ロールプレイングで知識を実践技術として身につける。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客・カウンセリング I		講義 (演習)		トータルビューティーク	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	吉竹 てるみ
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。</li> <li>・ サービス業に求められる基本的な接客スキルを身につけ実践できるようになる。</li> <li>・ 就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人として必要となるビジネスマナーの習得を目指します。</li> <li>・ サービス業で必要となるおもてなしの心とは何か、またその表現方法の習得を目指します。</li> <li>・ 就職活動に対する意識を高め、企業が求める人材育成を目指します。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 筆記試験 (小テスト、学期末試験等の実施)				筆記試験	50%
2. 課題・演習 (授業で学んだことが実践できるかの確認)				課題・演習	30%
3. 平常点 (授業に取り組む姿勢、出席率)				平常点	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4クリアファイル (ポケットファイル30枚～40枚程度)</li> <li>・ ノート (ルーズリーフ) ・ 筆記用具</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 他已紹介				2
2.	社会人への意識改革、マナーの重要性、CSについて				2
3.	ビジネスマナー①(第一印象、挨拶、姿勢、身だしなみ)				2
4.	ビジネスマナー②(言葉遣い、印象度アップの話法)				2
5.	敬語、言葉遣いに関する小テストの実施、答え合わせを行いながら解説			<小テスト>	2
6.	ビジネスマナー③(電話応対)				2
7.	ビジネスマナー④(お客様応対とご案内の基本、席次のルール)				2
8.	ビジネスマナー⑤(職場でのコミュニケーション)				2
9.	ビジネスマナー⑥(報連相の重要性)				2
10.	ビジネスマナー⑦(報連相:ケーススタディ)			<演習発表>	2
11.	ビジネスマナー⑧(仕事に対する8大意識)				2
12.	ビジネスマナー⑨(仕事はPDCAで進める)				2
13.	就職活動(インターンシップ)に向けての準備				2
14.	テスト前の復習と学期末試験の実施			<学期末試験>	2
15.	学期末試験の解答と解説、授業総まとめ				2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			接遇マナー I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			キャリアプラン I B		

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
着付け I A		実技		トータルビューティーク		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	大野 泰世	
授業の目的・目標						
日本の民族衣装・着物の伝承を目的とする 着装文化・知識・マナーを学び、理解を深める						
授業の概要						
着装の基礎から学ぶ～基本の着付け・帯結びを習得する 無駄のない手順、美しい動作で着装する 美しい立ち居振舞いを身につける						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢) 3. 課題 (作品・テスト)				課題	10%	
				平常点	60%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
足袋、コンビネーション、タオル3枚、長襦袢、衿カラー ファンデーション、ベルト、衣裳敷、仕立て衿、裁縫道具、平ゴム(1cm×10cm)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	授業内容説明・半衿つけ	2	1.	小物の説明 長襦袢の半衿のつけ方 ●裁縫道具、平ゴムを忘れずに ※創作帯結びについて		
2.	肌着・補正の説明	2	2.	補正タオルの作り方・土台作り		
3.	長襦袢の着つけ	2	3.	長襦袢の着つけ・たたみ方 ※マナー		
4.	普段着の着つけ	2	4.	小紋の着つけ ※着物の種類とTPO		
5.	〃	2	5.	※着物の名称 ※着物のたたみ方(本だたみ)		
6.	普段着の着つけ	2	6.	小紋の着つけ		
7.	〃	2	7.	半巾帯の帯結び～蝶結び		
8.	浴衣の着つけ	2	8.	浴衣について 浴衣の着つけ		
9.	〃	2	9.	半巾帯の帯結び～蝶結び復習 ※マナー 着物姿を美しく		
10.	浴衣の着つけ	2	10.	浴衣の着つけ		
11.	〃	2	11.	半巾帯の帯結び～アレンジ ※マナー 総練習		
12.	実技試験	2	12.	実技試験(10分) 浴衣の着つけと蝶結び		
13.	創作帯結び	2	13.	創作帯結び制作 ※写真撮影		
14.	創作帯結び	2	14.	創作帯結び制作		
15.	発表会	2	15.	発表 ※創作用紙提出		
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			着付け I B			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
着付け I B		実技		トータルビューティーク		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	大野 泰世	
授業の目的・目標						
着付けを通し技と心を磨く 他装の心得を学び、思いやりの心を育むこと						
授業の概要						
礼装の着付け・二重太鼓を習得する						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢) 3. 課題 (作品・テスト)				課題	10%	
				平常点	60%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
足袋、コンビネーション、タオル5枚、長襦袢、衿カラー ファンデーション、ベルト、衣裳敷						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	授業内容説明		2	1.	礼装着について ※帯の種類 ※なごや帯の名称・種類・たたみ方 ※創作帯結びのデザインについて	
2.	普段着の着付け		2	2.	小紋の着付け なごや帯のお太鼓(教材枕)	
3.	〃		2	3.	帯締め(平打ち・丸組)・帯あげの整え方 ※デザイン用紙提出	
4.	筆記・実技試験		2	4.	実技(10分) 普段着の着付けと半巾帯の帯結び(蝶結び)	
5.	〃		2	5.	筆記(20分)	
6.	礼装の着付け		2	6.	礼装の着付け	
7.	〃		2	7.	なごや帯のお太鼓復習・お太鼓柄の出し方	
8.	礼装の着付け		2	8.	袋帯の二重太鼓(教材枕)	
9.	〃		2	9.	※袋帯の名称・種類・たたみ方 ※帯締め(平打ち・丸組)・帯あげの整え方	
10.	礼装の着付け		2	10.	袋帯の二重太鼓復習	
11.	〃		2	11.	手先の柄の出し方	
12.	礼装の着せ方(教材)		2	12.	他装の心得 ※他装の補正の仕方	
13.	創作帯結び		2	13.	創作帯結び制作 ※写真撮影	
14.	創作帯結び		2	14.	創作帯結び制作	
15.	発表会		2	15.	発表 ※創作用紙提出	
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			着付け I A			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヘアアレンジ I		実技		トータルビューティー科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	円城寺 大河
授業の目的・目標					
頭の構造と道具の扱い方を学び、ヘアスタイルを完成させる迄の技術の基礎ができる。					
授業の概要					
ヘアセットの基礎を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題 (提出された課題の完成度と提出率)				課 題	20%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)				平 常 点	50%
3. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)				学 習 意 欲	30%
使用テキスト・教材					
ウィッグ・ブラシ・コーム・ヘアピン類・クランプ・ホットカーラー・ワックス・スプレー・コテ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1	オリエンテーション/授業の進め方・1年次の習得目標・先生の自己紹介(作品紹介)・学生自己紹介・道具の説明・頭の各部名称・ブロッキング・ホットカーラーの実践				2
2	正確なブロッキングとカーラー巻きテスト・ピン打ち・ゴムの縛り方				2
3	ピン打ち・ゴムの縛り方復習・編み込み・スタイリング剤の使い方				2
4	編み込みの応用・コテの使い方・浴衣ヘア・法被ヘア				2
5	相モデルでの基礎復習 創作イメージ制作				4
6	創作ヘアアレンジ制作 (パーティヘア 浴衣ヘア)				4
7	すき毛を使ったスタイルの作り方				2
8	和装のヘアスタイル (夜会 新日本髪)				4
9	和装のヘアスタイル (テスト)				2
10	サイズバランスコントロール				2
11	ヘア基礎最終チェック (テスト) 創作イメージ制作				2
12	自由創作ヘア				2
13					
14					
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2025年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
色彩学			講義・演習		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	2	朝比奈 将人	
授業の目的・目標						
色の楽しさ・素晴らしさを学び、ビューティ分野とくにメイクアップに活用出来るよう色彩の基礎知識を身につける。 色彩検定3級試験の合格を目指す。						
授業の概要						
AFT色彩検定3級テキストをベースに色彩検定3級試験合格を目的に色彩学の基礎を広く学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 課題 (検定結果・試験点数) 2. 平常点 (出席率) 3. 学習意欲 (課題の提出率)					課題	40%
					平常点	30%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
①色彩公式テキスト3級・演習台紙・配色カード199b・はさみ・ステックのり ②ノートパソコン ①②で何が必要かは、Teams等にて事前連絡を予定						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			4			
2. 色の表示①/色の分類と三属性			4			
3. 色の表示②/PCCS			4			
4. 色の心理効果			4			
5. 色の視覚効果			4			
6. 色彩調和			4			
7. 中間テスト			4			
8. 配色イメージ			4			
9. ファッションと色彩			4			
10. インテリアと色彩			4			
11. ファッションと色彩/デザインでの配色応用			4			
12. 光と色①			4			
13. 光と色②			4			
14. 後半テスト			4			
15. 検定対策			4			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			パーソナルカラー			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
パーソナルカラー		講義・演習		トータルビューティ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	朝比奈 将人	
授業の目的・目標						
色の楽しさ・素晴らしさを学び、ビューティ分野とくにメイクアップに活用出来るよう色彩の基礎知識を身につける。 パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指す。						
授業の概要						
パーソナルカラー検定モジュール1テキストをベースに、パーソナルカラー検定モジュール1合格を目的に学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 課題 (検定結果 中間テスト結果) 2. 平常点 (出席率) 3. 学習意欲 (指定課題の提出率)				課題	40%	
				平常点	30%	
				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
①パーソナルカラー検定モジュール1テキスト ②パソコン ①②で何が必要かは、Teams等にて事前連絡を予定						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 色を見るための条件			4			
2. 色の属性			4			
3. 色のものさし			4			
4. 色彩の心理効果			4			
5. 配色法			4			
6. フォーシーズン分類			2			
7. パーソナルカラー実習			4			
8. 検定対策			4			
9.						
10.						
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			色彩学			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
デザインアプリケーション		講義・演習		トータルビューティー科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	鈴木 涼 山梨 忍	
授業の目的・目標						
①カメラの使い方を習得し、自らが思い描く写真を実際に撮影するまでのプロセスを創造することができるようになる。②Adobeアプリケーションを使用し、撮影した写真を現像・レタッチすることができるようになる。③撮影・編集した写真をポートフォリオとして形にする。 ④インターネットの由来、仕組みから基本を伝える						
授業の概要						
①カメラの使い方(レンズの種類・F値・シャッタースピード・ISOなど)の習得 ②Adobe Lightroomの使い方(現像・レタッチ)の習得 ③Photoshopの使い方(レタッチ・制作物の作成)の習得 ④インターネットの歴史、現代のSNSの活用方法、リアルマーケティングの実例						
成績評価の方法						
1. 平常点(主体的な授業参加度)				平常点	40%	
2. 課題(カメラやLightroom/Photoshopの習得度)				課題	30%	
3. 学習意欲(授業に取り組む姿勢/クリエイティブな自己表現)				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
資料はPDFデータを配布します カメラはバッテリーを十分に充電してから持参してください						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	講師紹介・アイスブレイク	2	16.	撮影	2	
2.	カメラの使い方	2	17.	Lightroom編集	2	
3.	撮影してみよう	2	18.	撮影の反省・改善点	2	
4.	Lightroomの使い方	2	19.	Photoshopの使い方	2	
5.	Lightroomで編集してみよう	2	20.	Photoshopでの編集	2	
6.	デジタルアプリケーション	2	21.	ポートフォリオや制作物の計画	2	
7.	カメラの使い方・復習	2	22.	ポートフォリオや制作物の計画	2	
8.	撮影の計画・準備	2	23.	撮影	2	
9.	課外撮影	2	24.	撮影	2	
10.	課外撮影	2	25.	Photoshopで印刷物を作成	2	
11.	Lightroom編集	2	26.	Photoshopで印刷物を作成	2	
12.	撮影の反省・改善点	2	27.	ポートフォリオ作成	2	
13.	ブライダルの撮影について	2	28.	ポートフォリオ作成	2	
14.	撮影の計画・準備	2	29.	ポートフォリオ作成	2	
15.	撮影	2	30.	デジタルアプリケーション	2	
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			ITリテラシー I			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ウェディング I A		講義・演習		トータルビューティー科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	望月 明子	
<b>授業の目的・目標</b>						
ウェディング業界の知識を深め、結婚式ができるまでの過程を知り当日をイメージできるようになることで、将来ブライダル業界への就職に役立てられるようにする。						
<b>授業の概要</b>						
<p>婚礼の歴史から現在に至る形式の変容と最新トレンドを学ぶ。          本番を迎えるまでの打合せの流れに沿って、関わる各職務の役割やアイテムを学ぶ。          ウェディングプランナーとなり新郎新婦に寄り添い結婚式のシナリオを作り、当日の流れをイメージできるようにする。</p>						
<b>成績評価の方法</b>						
1. 学習意欲（授業に取り組む姿勢） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 課題（提出された課題の完成度と提出率）				学習意欲	40%	
				平常点	40%	
				課題	20%	
<b>使用テキスト・教材</b>						
ブライダルプランナーテキスト						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1. ウェディングとはプランナーに求められること			2			
2. ウェディングの変遷			2			
3. 新規接客業務 ビジネスマナー			2			
4. 式場見学			2			
5. //			2			
6. プランナー業務			2			
7. ブライダル衣装について			2			
8. ブライダルアイテムの知識と今①			2			
9. ブライダルアイテムの知識と今②			2			
10. プランニングについて			2			
11. プランニング① My Wedding Plan			2			
12. 発表会①			2			
13. プランニング② Your Wedding Plan (PowerPoint使用)			2			
14. //			2			
15. 発表会②			2			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※単元ごと演習課題を実施する。			ウェディング I B			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ウェディングIB		講義・ <b>演習</b>		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	岩本 ひとみ
授業の目的・目標					
ドレスコーディネートに求められる、ドレスに関する豊富な知識、ブライダルに関する幅広い知識、そして接客のプロとして、コミュニケーション力や会話スキルを身に付ける。					
授業の概要					
ウェディングドレスの知識・接客スキルを身に付ける。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出された課題の完成度と提出率） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢）				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
ブライダルコスチューム用具一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ウェディングドレスについて			2		
2. ドレスの種類・トレンドについて			2		
3. 和装			2		
4. カルテ作成			6		
5. イメージ作成			4		
6. ドレスフィッティング			4		
7. トータルコーディネート			2		
8. トータルコーディネート			2		
9. 見学			2		
10. 見学			2		
11. 見学			2		
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ウェディングIA		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
セルフプロモーション I		講義・ <b>演習</b>		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	仲間 ライラ
授業の目的・目標					
お客様に必ず見られる職業、プロとして社会に出る前に立ち居振る舞いや正しい姿勢・歩き方を学んで身に着けることで自分自身に自身を持ってもらう事が大切です。					
美しい所作や立ち居振る舞い・姿勢・歩き方に意識をもってもらう事で習慣化させることが大事					
成績評価の方法					
最終的に実践した時に理解、出来ているか。				課題	100%
使用テキスト・教材					
実習では動きやすい服装で参加する事					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	オリエンテーション		2		
2.	美しい立ち居振る舞いとは？		4		
3.	①基本の立ち姿勢		4		
4.	歩き方.足の使い方		4		
5.	②就職活動において気を付けるべきこと		4		
6.	卒業制作ヘアメイクショーでの		4		
7.	モデルウォーキングとは		4		
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名		授業形態		学科・コース		
キャリアプラン I B		講義・演習		トータルビューティ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	佐々木 史	
授業の目的・目標						
①自分のキャリアプランに基づいた就職目標を明確にする。 ②コミュニケーション能力を強化する。 ③就職活動に必要な書類の作成。 ④最近の選考方法を理解して対応力を身につける。						
授業の概要						
次年度の就職活動に向けて、自分の特性を客観的に把握し、キャリアプランを立てる。コミュニケーション能力を向上させて就職活動に備える。						
成績評価の方法						
1. 課題（課題の完成度と提出率）				課題	30%	
2. 平常点（主体的な授業参加度）				平常点	40%	
3. 学習意欲（授業に取り組む姿勢）				学習意欲	30%	
使用テキスト・教材						
独自に作成したワークシートと就職に関する資料 キャリアサポートブック PC						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 就職活動の考え方と授業の進め方			2			
2. 自己分析①			2			
3. 自己分析②			2			
4. キャリアプランを立てる①			2			
5. キャリアプランを立てる②			2			
6. 履歴書の書き方①			2			
7. 履歴書の書き方②			2			
8. 自己PRのポイント①			2			
9. 自己PRのポイント②			2			
10. グループディスカッション①			2			
11. グループディスカッション②			2			
12. 作文の書き方①			2			
13. 作文の書き方②			2			
14. まとめ①面談			2			
15. まとめ②面談			2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			キャリアプラン II			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I B		講義・演習		トータルビューティー科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	吉竹 てるみ
<b>授業の目的・目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。</li> <li>・サービス業に求められる基本的な接客スキルを身につけ実践できるようになる。</li> <li>・就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要となるビジネスマナーの習得を目指します。</li> <li>・サービス業で必要となるおもてなしの心とは何か、またその表現方法の習得を目指します。</li> <li>・就職活動に対する意識を高め、企業が求める人材育成を目指します。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 筆記試験（小テスト、学期末試験等の実施）				筆記試験	50%
2. 課題・演習（授業で学んだことが実践できるかの確認）				課題・演習	30%
3. 平常点（授業に取り組む姿勢、出席率）				平常点	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4クリアファイル（ポケットファイル30枚～40枚程度）</li> <li>・ノート（ルーズリーフ） ・筆記用具</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 前期の復習					2
2. 就職活動①(職業選択について:自分の人生における優先順位を明確にする)					2
3. 就職活動②(企業が求める人物像について)					2
4. 就職活動③(自己PRのポイント)					2
5. 就職活動④(面接時の立ち居振る舞い)					2
6. 就職活動⑤(模擬面接)					<演習発表> 2
7. 就職活動⑥(模擬面接)					<演習発表> 2
8. 就職活動⑦(ビジネス文章・お礼状の書き方)					2
9. 就職活動⑧(お礼状の作成、メールのルール)					<課題提出> 2
10. 就職活動⑨(復習とまとめ)					2
11. 接客サービス①(お客様に喜ばれる接客について考える)					2
12. 接客サービス②(お客様に喜ばれる接客について考える)					<演習発表> 2
13. 接客サービス③(待機姿勢、表情コントロール、お出迎えの挨拶)					2
14. テスト前の復習と学期末試験の実施					<学期末試験> 2
15. 学期末試験の解答と解説、授業総まとめ					2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。			接客・カウンセリング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2025年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクトI		実習		トータルビューティ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	朝比奈 将人
<b>授業の目的・目標</b>					
地域・企業とのコミュニケーションを通して、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力を学ぶ。					
<b>授業の概要</b>					
地域社会や企業と協働しプロジェクトの過程を通して、社会人基礎力を育み未来を生き抜く力を身につける。					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)				平常点	60%
				学習意欲	40%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		
1. プロジェクト説明			2		
2. 連携先によるオリエンテーション			2		
3. 実践準備			2		
4. //			2		
5. //			2		
6. //			2		
7. //			2		
8. ブラッシュアップ			2		
9. //			2		
10. //			2		
11. //			2		
12. //			2		
13. プレゼンテーション及び実践実行			2		
14. //			2		
15. フィードバック			2		
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2025年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
特別実習 I		実習		トータルビューティー科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	山口桃・鈴木栄人 朝比奈将人	
授業の目的・目標						
<p>〈SNS〉 SNSマーケティング、自身のブランディング、他社と差別化するには。          〈茶道〉 自分の心の在り方を様々な方向から探求できるヒントを習得する。          〈卒業生講話〉 通常授業では体験出来ないプログラムを通し、就職に活きる情報やサービス提供に役立つ技術知識を得る。</p>						
授業の概要						
<p>〈SNS〉 TikTok, Instagram リール動画考案、リサーチ、制作。動画制作と編集に慣れる。自身で考える力をつける。Instagram 投稿用、ストーリー用写真、動画撮影。等          〈茶道〉 自分の心の在り方を様々な方向から探求できるヒントを習得する。          〈卒業生講話〉 卒業生講話を通し、求められる人材や業界の今を知り就活に活かす。</p>						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	50%	
2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢)				学習意欲	50%	
使用テキスト・教材						
<p>〈SNS〉 各自スマートフォン          〈茶堂・卒業生講話〉 筆記用具</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 講師紹介・アイスブレイク			2			
2. SNSについて、動画撮影 自己PR動画			2			
3. 動画撮影			2			
4. 写真撮影			2			
5. 動画、画像編集			2			
6. 茶の湯文化のおもてなし			4			
7. 茶の湯文化の季節感			4			
8. 卒業生講話①			4			
9. 卒業生講話②			4			
10. 特別授業			4			
11.						
12.						
13.						
14.						
15.						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						